

彩の国シェイクスピア・シリーズ第15弾

# 間違いの喜劇

男たちのシェイクスピア  
2組の双子たちの、  
間違いにつぐ間違いから起きる喜劇。

『間違いの喜劇』は、瓜ふたつの双子二組が巻き起こす混乱のせいで、シェイクスピア喜劇の中でも最も狂騒的で晴朗だ。幼いときに生き別れになったそれぞれの兄を捜すため、エフェソスへやって来たシラクサの主従アンティフォラスとドロミオ。エフェソスのアンティフォラスは街の名士で、エイドリアーナという気の強い女性と結婚している。混乱の火種が飛び込んできたとは露知らない街の人々は、シラクサの主従を昔からの知己と思い込む。当然二人は事ある毎に「？」である。人違いする側にとっては彼らの反応が「旧知の主従」の異様な言動と映る。それどころか当人たちも何が何だか訳が分からなくなる。その上シラクサのアンティフォラスは、エイドリアーナの妹に一目惚れしてしまう。さあ大変、彼女には義兄がトチ狂ったとしか思えない。人が混乱すれば、モノも混乱。金の首飾りだの金だのが取り違えた相手の手に渡り、しまいには訴訟騒ぎまで持ち上がる。

大詰めは、そもそも海難事故でばらばらになった父母を含む一族の再会だ。目の前にアンティフォラスとドロミオが二人ずついるのだから、誰も彼もが驚愕の極み。抱腹絶倒でありながらジーンとさせられる。奇跡を目の当たりにするような至福感がある。

双子の片割れを探しにきたはずが、海に落ちたしづくのように自分を見失い、相手を見出すと同時に自分をも見出す。『間違いの喜劇』は自己発見と自己認識の劇でもある。

松岡和子

## STORY ストーリー

場所はエフェソス。シラクサの商人イジーオンは、嵐で離散した家族を探す旅の途中辿り着いたエフェソスの港で逮捕される。エフェソスとシラクサは対立しており、両国にお互い足を踏み入れたものは死刑か罰金を支払わなければならないが、イジーオンは十分な金を持っていなかった為に公爵ソライナスから死刑の宣告を受ける。イジーオンは公爵に妻エミリア、双児の息子(アンティフォラス)、また召使いとして育てたもう一組の双児(ドロミオ)がバラバラになっている事情を説明、許しを乞う。公爵はイジーオンに一日の猶予を与え、保釈金を集めるよう命じる。

その頃、偶然、兄探しの旅に出ていたアンティフォラス弟とドロミオ弟もエフェソスに到着する。エフェソスには彼らの兄が住んでいるが、弟がすぐ傍

にいる事など知る由もない。

アンティフォラス弟は召使いに用を言いつけて一人で町を歩いていると、召使い(自分の召使いではなく、双児のドロミオ兄)が戻ってきて、妻エイドリアーナから食事に戻るよう、奥様が待っている、などと奇怪なことを言われる。アンティフォラス兄弟の前に召使いのドロミオ兄弟がそれぞれ入れ替わり現れ、事態は混乱し始める。

訳の分からないまま帰宅する弟たち。その後、アンティフォラス兄本人が友人たちと帰宅するものの、本人と気付いて貰えず門さえ開けてもらえない。門を打ち破り家に入ろうとする兄だが、友人に止められ、仕方なく外出に出掛ける。

知らない人々から話しかけられることに気味悪くなりエフェソスから逃げ出そうとする弟たち。アンティフォラス兄が妻のために注文した金の首飾りを弟が

受け取ってしまったために、「何も受け取っていない」と金細工師への代金の支払を拒んだ兄は逮捕されてしまう。夫の気が狂ってしまったと思い込む妻エイドリアーナは、アンティフォラス兄を自宅に連れ戻す。そこに現れる弟。エイドリアーナは夫が逃げ出したと思い捕まえようとし、弟たちは修道院に逃げ込む。

修道院主エミリアに夫を引き渡して欲しいと頼むエイドリアーナだが、エミリアはこれを拒む。エイドリアーナは憤慨し、イジーオンを連れて処刑場に向かうため通りかかった公爵ソライナスに訴える。妻に家を締め出されたことを訴えるため姿を見せるアンティフォラス兄。そこにエミリアが弟たちを連れて現れ、ついに再会する父と二組の双児たち。エミリアが彼らの母親だということも判明し、イジーオン処刑は取り止め。家族全員の再会を祝し、宴が開かれる。

SHIGE UCHIDA

YO TAKAHASHI

TETSURO SAGAWA



KOTARO YOSHIDA

SHINGO TSURUMI

SHUN OGURI

YUKI TSUKIKAWA

彩の国シェイクスピア・シリーズ第15弾

## 間違いの喜劇

【演出】 蜷川幸雄 【作】 W・シェイクスピア 【翻訳】 松岡和子  
2月3日(金)～2月19日(日) <18公演>  
【会場】 彩の国さいたま芸術劇場大ホール

【一般】  
S席 9,000円 A席 7,000円  
B席 5,000円(全席指定・税込)  
学生席 2,000円(学生席は芸術劇場のみ取扱)

【メンバーズ】  
S席 8,100円 A席 6,300円  
B席 4,500円(全席指定・税込)

【出演】  
アンティフォラス兄・弟(2役) 小栗 旬  
ドロミオ兄・弟(2役) 高橋 洋  
エイドリアーナ 内田 滋  
ルシアーナ 月川 悠貴  
エミリア 鶴見 辰吾  
イジーオン 吉田 鋼太郎  
バルサザー 樋川 哲朗 他

美術 中越 司  
照明 原田 保  
衣裳 宮本 直子  
音響 井上 正弘  
ヘアメイク 佐藤 裕子  
音楽 笠松 泰洋  
振付 青木 美保  
劇団指導 いくさく 堂  
演出助手 井上 尊晶  
舞台監督 白石 英輔